

夏雲から秋の気配に
少しずつ変化してきましたね。



止めましょう！
テロも戦争も

日本共産党北区議会議員
さがらとしこ
区政レポート

日本共産党議員団
2021. 8.30. vs. 1824.
御相談はお気軽に
TEL とも **3905-0970**
FAX とも
さがらとしこ事務所
赤羽北3-23-17
(バス停「赤羽北3丁目」メガシティ近く)

「湧水池のじゃぶじゃぶ池も枯れる可能性があり、夏虫のキャンも、絶滅することもありうる」と中村の環境を壊す86道路計画は中止を「まちがったことをただす勇気と行政を示してほしい。」中村の証言が胸を強く打ちました。



原告団長の
高崎忠道氏(静勝寺住職)



赤羽西・弁天通りは、戸建ての住宅。静かな住環境をと住民は努力してきたと証言した前田雄一郎さんと、後方は柳井真知子事務局長



● 8月24日、東京地方裁判所の103法廷で、86道路計画の中止を求める裁判の第2回目となる証人

＜上の写真は、弁護団＞

尋問がおこなわれました。

のあとに発足した北区というまちは、50年間にわたって、日本陸軍、そして戦後は米軍と、さらには陸上自衛隊十条駐屯地という、軍事基地、施設の区民開放をたたかいつづけた歴史をもっていると証言。

赤羽自然観察公園には、平和都市地区をめざす区民の決意がめられていると証言しました。

裁判官には、現地に足を運んでほしい

＊区民の憩いの場であり、貴重な動植物などに触れ合える2つの公園。議会でのこれまでの経過や、利用者や地権者の方のお話を聴けば、2つの公園が地域の努力と願いから生まれ、育てられてきたのがよくわかりました。桐ヶ丘・T.Hさん



報告会での赤羽西在住
中村吉男氏 4

証人席のさがらとしこに
傍聴席からのスケッチ



■ 86特定整備路線
裁判を傍聴して



8月のまちかど・トーク 8月21日(日)午後
9月20日(日)午前中



公開の裁判 説得力あつた4人の証言者

8/24 都議会議員 そねはじめ

＊すばらしかったですね。1999年オープン当時は、ただの草っぱだった赤羽自然観察公園。20年以上かけて森のように樹木が生い茂り、湧水を大切にしてくられた利用者やボランティアの方々の長年の努力。ここに公園を分断する道路が建設されたら、湧水池のじゃぶじゃぶ池だけでなく、公園の環境が壊されてしまうときっぱり。証言は説得力がありました。

＊環境破壊の間違った道路計画は、きっぱり見直し、中止するべきと、行政の姿勢を鋭く告発されました。これに対して、国も東京都も、裁判長から与えられた5分間の反論機会を放棄しました。これからが大事です。

日本共産党東京12区比例
池内さおり 前衆院議員



2021. 8. 25.

北区は9月1日から小・中学校、幼稚園・こども園は9/2からはじまります。



写真
右から2人目
清正(左)
教育長

北区教育委員会 教育長 清正 浩靖 殿

デルタ株拡大に伴い、子ども施設における
新型コロナウイルス感染症対策の強化を求める申し入れ

2021年8月30日

日本共産党北区議員団 幹事長 山崎 たい子
日本共産党前衆議院議員 池内 さおり
日本共産党都議会議員 そね はじめ



日頃からの新型コロナウイルス感染症対策と子ども施策のご尽力に感謝申し上げます。
感染力の強いデルタ株の拡大に伴い、北区でもこれまで感染しにくい、重症化しないとされてきた子どもや親世代への感染が増加しています。
子ども・子育て会議には、8月に入り、小・中学校で100人、学童クラブやわくわく☆ひろばで15人、保育園で69人が感染し、8月末で小・中学校5校と保育園26園が休業との報告がありました。
北区教育委員会では、小・中学校は9月1日から、幼稚園・こども園は9月2日から再開の予定としていますが、政府分科会からは「全国各地が災害レベルの状況」、「学校再開で感染拡大も」との懸念が出され、保護者からも「夏休み明け、このまま登校させてよいのか悩んでいる」、「学校再開が遅期になった区もある」との声が寄せられています。
子どもの命を守り、学びや保育を保障するため、新たな局面での感染症対策について、以下、要望いたします。

～2021.8.30 「さからレポート」No.1824.～

子どもの学び・保育と保障し、感染対策を

北区教育委員会 対策を強め、学びを止めないを基本にして、ご要望としっかり受けぬ。学校と子どもにとっての安全、安心な場としてゆく。

1. 感染状況に応じて、登校見合わせ、分散登校、オンライン授業などを柔軟に組み合わせて対応すること。また、その際、給食に代わる食の保障を検討すること。
2. 感染防止のため登校せず、自宅学習を選択する児童・生徒を欠席扱いにしないこと。
3. 教室・保育室でのエアロゾル感染防止のために、短時間での全換気と不織布マスクの着用を重視し、必要な場合はマスクを支給すること。
4. 学校内で児童・生徒・教職員に陽性者が出た場合、濃厚接触者を狭めず学級、学年、全校など、実態に応じた広範なPCR検査を行政検査として実施すること。また幼稚園・保育園においても同様の対応をとること。
5. 教職員、保育士などへの定期的PCR検査を実施するとともに、家庭に検査キットを配布し、定期的な簡易検査を行うこと。
6. ワクチン接種のため、また副反応が出て早退・欠席する場合は柔軟に対応すること。
7. 感染症対策や発熱症状の児童・生徒への対応などについて、教職員の研修や「対応ガイドライン」の整備を行い、必要な人員、体制を確保すること。養護教諭を含めた現場の教職員に、本来の役割以上の業務を担わせないこと。
8. 子どもたちが受け身でなく、学校行事や授業の進行などに自分たちの意見を反映させられるよう、新型コロナウイルスと感染のしくみをしっかり学ぶ機会を保障すること。
9. 学校や保育園を休業することを想定し、保護者への休業等対応助成金・支援金の復活などを国に求めるとともに、臨時の子どもの預かり体制を区としても検討すること。

以上

さから区議は
国にも対応を求めながら、北区内でもぜひ求めました。
布織布マスクの無料配布について

9/1(水)午前9時～妊婦の方へのワクチン予約受付開始。北区のサイト
北区コールセンター 0120-801-222